

日刊 磐城時報

福島縣磐城郡平町樹屋町
編輯兼發行人 阿部 武成
印刷所 加納活版所
印刷 加納活版所
發行所 磐城時報社
電話 一〇五五
郵政掛號 第一〇五五號
代售所 各書局
廣告料 行字一ヶ月金五十圓
印刷 日曜 休刊

平町の十年度豫算

卅三萬圓程度か？

大事業何れも沙汰止みの模様

平町の明年度豫算は目下各課に千五百圓を投じてモダン二階建
おいて取組中であり、運河も十應舎の新築成り、愈々十四日盛大
日前後には終了を見るので、大体な落成式を舉行することになつ
十五日頃豫算町會を召集する模様が同町は人口一萬二千を超へ
様であるが、十年度は第四小學商港の完成と平小鐵道の建設等
校建設が新川改修遅延から沙汰將來ますます「發展の途上にある
やみとなる外大事業は財源難かに拘らず治安維持と民衆保護の
ら何れも枕を並べて討死する模様に當る警察官は警部補以下僅
様で、結局十年度豫算は九年度に比し、巡査三名に過ぎず萬全を期
當初豫算の三十三萬圓を超へざるに難いので、平署では今回の應
るものと観測されてゐる。

巡査を増員

隨造都市小名濱に
四月から實施の計劃
小名濱町警部補派出所は工費二

土木建築界の大御所

江口忠一氏長逝

業界稀に見る人格者

本葬は十九日執行

平町榎小堀江工業株式會社茶屋に附し十九日午後二時平町
々長江口忠一氏は去る三十一日長橋町性源寺に於て本葬を執行
大石土木課長と共に目下同會社に在る筈である。
で工事中の久之濱海岸を視察し
歸平後突然卒倒し静養中であつ
たが二日前八時五十分死亡し
た享年五十五歳である、遺骸は
明三日午後二時平火葬場に於て

等稀に見る手腕家であつた。
明治三十四年十二月工兵第十
二大隊に入隊し日露戰役に工
兵曹長として出征し七官適任
を命ぜられ功により勳七等に
叙され功七級金鷲勳章を授け
られた、除隊後東京、朝鮮、
臺灣等に於て土木建築工事に
従事し大正六年平町に來り堀
江工業株式會社を經營するに
至つたもので、勤勞實直の努
力家として土木建築業界稀に
見る人格者であつた。

萬圓以上の工事を執行する二百二十工目下十萬圓で久之濱海岸工事を
十數個所に達してゐるが、特にを行つてゐたもので前途益々多渡した。
大工事として完成したのは鬼怒川長江を囑目されてゐた同氏の
川發電所(四十八萬圓)江名漁港
第一期、第二期(三十一萬圓)等
を筆頭に棚倉電氣發電所、磐城
セメント、東京市役所、水沼橋
鹿沼高等女學校、磐城セメント
湊分工場、函館大森校、八戸局
結果同士の白土周太(一七假名)

父堀江工業株式會社取締役社長
江口忠一儀 去月卅一日突然發
病し藥石効無く二日前八時五拾
分死去致候間此段御通知申上候
追而來る三日午後二時不取茶屋に附し十九日午
後二時平町字長橋町性源寺に於て佛式葬儀相營候
昭和十年二月二日
男
親戚總代 堀江 軍二
堀江 定一
堀江 清
堀江工業株式會社代表
鈴木 唯治

● 二百市 ● 大特價 ● 景品サレビス ●
中野洋品店の初賣
便利で 重寶な 商品券
● 舊正月二日・三日景品呈上 ●
御利用下さい.....
正 中野洋品店
平二・電五十三番

深更の街に呻めく 敗殘者・死の清算

故郷の土を踏んで仰毒

一日午後十時頃平町一丁目地内染してから家運も漸次傾いたのを「苦しい、助けて呉れ」と絶叫で最近妻を離縁して以來極度にしつゝ通行してゐる青年を巡回前途を悲観、懐かしき故郷で死中の平署員が発見、同署に保護の清算を企て猫イラズを嚙下し留置して取調べたところ、同人もものゝ判明したが重体なのでは平町才雄小路に生れ猪狩隆男直ちに警城共済病院に入院手當(一九)で数年前から郡山市に移を加へたが今日午前四時遂に住、魚屋を営んでゐたが性來の死亡した。放蕩癖が祟つて悪質の梅毒に感

常備消防愈々本格化

四月から晝間も出動警戒

平町警備委員会は一日午前十時して當選作を印刷配布して納税から役場會議室で開き十年度警備思想の普及向上を圖るべく計劃備費豫算に就て協議した結果現を進めてゐる。在の常備消防隊(夜間)のみを來る四月より更に晝間にも延長、五名の隊員を以つて警戒に當らせ本格的常備消防隊を設置することに決定、この經費二千七百圓で合計警備費總額一万二千圓同町銀海町吉田興店吉田ヒロ兩氏に備未貧困者救済として二日各白米一俵を平町役場に寄託した。なほ一丁目管本米穀店でも若干の白米を寄附したので役場では先に平町助成會が募集した救済金に添へて町内の極貧家庭白米戸に一戸平均一升宛。

白米を恵む

篤志家三氏

平町町松月堂店主金子重次、同町銀海町吉田興店吉田ヒロ兩氏は備未貧困者救済として二日各白米一俵を平町役場に寄託した。なほ一丁目管本米穀店でも若干の白米を寄附したので役場では先に平町助成會が募集した救済金に添へて町内の極貧家庭白米戸に一戸平均一升宛。

告

四日五日兩日は工場員慰安のため臨時休業仕候
警城時報社

納税美談浪曲

ホスター懸賞

平町警備委員会は一日午前十時して當選作を印刷配布して納税から役場會議室で開き十年度警備思想の普及向上を圖るべく計劃備費豫算に就て協議した結果現を進めてゐる。在の常備消防隊(夜間)のみを來る四月より更に晝間にも延長、五名の隊員を以つて警戒に當らせ本格的常備消防隊を設置することに決定、この經費二千七百圓で合計警備費總額一万二千圓同町銀海町吉田興店吉田ヒロ兩氏に備未貧困者救済として二日各白米一俵を平町役場に寄託した。なほ一丁目管本米穀店でも若干の白米を寄附したので役場では先に平町助成會が募集した救済金に添へて町内の極貧家庭白米戸に一戸平均一升宛。

吉例二日市特賣

賣初は當店初めての試練です皆様に毎度御引立の御禮として超特價大奉仕
一日・二日・三日・四日(四日間)
◇二日午前一時開店—先着五十名様に特別景品進呈す
◇利益を度外視し—ドコよりも良いケタ外れの…大景品
平三角・マルトモ向ひ
ハヤシ子供洋服店

舊正月二日・三日・兩日

吉例 福引景品付初賣出し
御買上金壹圓毎に福引券一枚呈上

和久井屋漆器店
平町一丁目 電話四〇五番

舊正月一日

吉例 福引景品付初賣出し
一等最上醬油九升詰樽付一本
五等迄空くじなし
金壹圓御買上毎にくじ一本呈上

扇屋酒店
平町紺屋町 電話一六五番

舊正月 吉例初賣出し

景品進呈いたします
洋品・小問物
化粧品・雜貨

イワキ屋商店
平町播磨小路

舊正月 吉例大賣出し

全ク安イ…早い御方は勝利
履物類
各種
野木ハキモノ店
平町(聚樂館トナリ)

品質絶冠

白萩

品質全國醬油界の王座を占む

醸造元

千葉縣野田町
山下平兵衛醸

發賣元

合名會社

白萩商店

商店

市内販賣店
三丁目 イワサキ屋酒店
紺屋町 扇屋酒店
材木町 緑川酒店
長橋町 白萩分店

平町 電話 四四三番